

第8回(平成18年度)IODP部会・執行部会 議事録(案)

日時:2007年1月30日(火) PM13:30~16:30

場所:海洋研究開発機構東京事務所 大会議室

出席者(敬称略)

執行部:鈴木徳行(北海道大学) 阿波根直一(北海道大学) 荒井晃作(産業技術総合研究所)
石橋純一郎(九州大学) 海野 進(静岡大学) 北里 洋(海洋研究開発機構)
佐藤時幸(秋田大学) 山本啓之(海洋研究開発機構) 山田泰広(京都大学)

オブザーバー

文部科学省海洋地球課:宿利一弥 杉山真人
海洋研究開発機構国際課:鷺尾幸久 笹山岳大
海洋研究開発機構CDEX:川村善久 木戸ゆかり
事務局:山田泰 加賀谷一茶

欠席者(敬称略)

白井正明(東京大学海洋研究所) 佐柳敬造(東海大学)

議事次第

1. 報告事項

国際SAS関連

- (1) IODP・SAS委員会/パネル委員ローテーションについて;事務局
- (2) 国内開催の次回IIS-PPGに関する対応について;阿波根部会長補佐

乗船関係

- (3) Equatorial Pacific 1 and 2乗船研究者募集結果;荒井委員,事務局

IODP/J-DESC関連

- (4) IODP国内戦略会議報告;鈴木部会長
- (5) 平成18年度J-DESC予算執行状況;事務局
- (6) 南関東アスペリティーワークショップ開催について;木戸オブザーバー

普及/広報活動関連

- (7) 連合大会「掘削地球科学」について;石橋委員,事務局
- (8) 会員提案型活動経費募集選考結果について;北里委員,事務局

2. 審議事項

J-DESC 関連

- (1) 2007 年度会員総会について；鈴木部会長，事務局
 - ・開催日時，会場等
 - ・議事次第（案）など
- (2) SASEC 後任委員、alternate 委員選出について；鈴木部会長，事務局
- (3) SPC 後任委員について；鈴木部会長，事務局
- (4) PMO Meeting への対応について；鈴木部会長・阿波根部会長補佐

普及／広報活動関連

- (5) 平成 19 年度 IODP 大学&科学館キャンペーンについて；事務局
- (6) J-DESC 新パンフレットについて；事務局
- (7) J-DESC Newsletter Vol.02 について；事務局
- (8) J-DESC Newsletter Vol.01 増刷および英語版製作について；事務局

3. その他

- (1) その他の報告事項など
- (2) 次回，執行部会日程

配布資料

- 資料 8-1 IODP・SAS 委員会／パネル委員ローテーション表（案）
- 資料 8-2 次回 IIS-PPG に関する対応
- 資料 8-3 Equatorial Pacific 1 and 2 乗船研究者募集結果
- 資料 8-4 平成 18 年度 J-DESC 予算執行状況報告
- 資料 8-5 連合大会「掘削地球科学」セッションへの参加呼びかけ
- 資料 8-6 会員提案型活動経費下半期選考結果
- 資料 8-7 2007 年度会員総会議事次第（案）
- 資料 8-8 J-DESC Newsletter Vol. 01 増刷見積書
- 資料 8-9 J-DESC Newsletter Vol. 01 英語版製作見積書
- 資料 8-10 J-DESC Newsletter Vol. 02 目次
- 資料 8-11 IODP-MI 主催 Workshop 案内
- 参考資料 1 IODP 総合パンフレット改訂（案）
- その他 海洋地球・環境分野の研究開発に関わる政府予算原案

1. 報告事項

国際 SAS 関連

(1) IODP・SAS 委員会／パネル委員ローテーションについて；事務局

標記の件について、事務局より説明がなされた。

- ・ SASEC

3 月のビデオ会議にて異委員が退任となるため、後任委員の選出を現在進めている。

- ・ SPC

3 月の大阪会議にて北里委員と野村委員が退任となるため、後任委員の選出を現在進めている。

(公募による候補の選出が早急に必要との指摘があったが、既に去年の7月に公募を行っており、新たな公募の必要はないことが後日判明したため、直ちに選出・承認手続きを行った)

- ・ EPSP

2 月の横浜会議で退任となる古谷委員の後任候補を現在検討中。また、同じく退任となる渡辺委員については、再任する方向で検討を進めている。

- ・ STP

12 月のサンフランシスコ会議で退任される笠原委員、坂本委員の後任候補を、科学計測専門部会にて現在選出中。

- ・ EDP

1 月のニューヨーク会議より、宮入委員 (JAPEX) が就任されたかが、選出次期が会議直前であったため、欠席扱いとした。

(2) 国内開催の次回 IIS-PPG に関する対応について；阿波根部会長補佐

標記の件について、次回の会議は 2007 年 7 月 23 日前後に札幌で開催されることが阿波根部会長補佐より報告された。

- ・ 会議ホストは、IODP-MI 札幌オフィスか北大 (阿波根部会長補佐) で調整中。

- ・ 執行部委員で IIS-PPG 委員でもある山田委員にサポートをお願いする。

- ・ IODP と産学との理解を深めるための連携ワークショップを、会議前後に東京近辺にて開催することが検討されており、運営等で J-DESC による支援を検討する。

乗船関係

(3) Equatorial Pacific 1 and 2 乗船研究者募集結果；荒井委員，事務局

標記の件について、J-DESC による応募期間中に追加募集分も含め 19 人から応募があったことが荒井委員より報告された。

- ・ 今後、追加募集はなるべく行わずに、期限後に来た応募については、ランキングにて不利となることを断った上で受理する等の方向で検討したい。

また、Equatorial Pacific 1 は、SODV の運用開始が当初予定より遅れる見込みであるため、航海が延期となること、Exp. 313 が利用予定だった DOSEC プラットフォームの事故のため、航海予定が変更となることが報告された。

- (4) 来年度の深海掘削関連の予算見通しについて；宿利企画官（オブザーバー）
MEXT の宿利企画官より、来年度の「海洋地球・環境分野の研究開発に関わる政府予算原案」の内容が説明され、深海掘削関連の予算が前年度より増加されることが報告された。

IODP/J-DESC 関連

- (5) IODP 国内戦略会議報告；鈴木部会長
昨年 12 月に札幌にて開催された標記会議について鈴木部会長より報告がなされた。
- ・ 燃料代の高騰等により、年間を通して「ちきゅう」を運行するには、外部資金の導入が必要であるとの意見が交わされた。
 - ・ IODP-MI の札幌、米国ワシントン D.C の両オフィスあり方について、検討が行われた。
 - ・ 2008 年を目処に IODP の ISP が改訂される予定であり、JISP も合わせて改訂することを検討している。

また、石原 J-DESC 会長と鈴木 IODP 部会長が今年度を持って交代するとの意向が伝えられ、後任候補を次回の執行部会までに J-DESC 内で調整する予定であることが報告された。

- (6) 平成 18 年度 J-DESC 予算執行状況；事務局
標記について、事務局より予算状況の報告がなされ、以下のような意見が示された。
- ・ 会員機関への配布物送付等の通信費は、宅配業者のメール便を使用する等、費用の節約に引き続き勤める。
 - ・ 今の J-DESC の予算状況を考慮すると、部会長、部会長補佐の PMO 会議参加旅費の支出は厳しく、対応を今後検討する必要性がある。

- (7) 南関東アスペリティーワークショップ開催について；木戸オブザーバー
2 月 27・28 日で開催が予定されている標記ワークショップについて、木戸オブザーバーより報告がなされた。
- ・ 本プロポーザル(Proposal 707)は、AESTO の IODP 掘削プロポーザル作成支援と、ワークショップ開催において J-DESC の会員提案型活動経費の支援を受けている。
 - ・ SSEP パネルでは、本プロポーザルは CDP で実施することが推薦されている。

普及／広報活動関連

- (8) 連合大会「掘削地球科学」について；石橋委員，事務局
標記大会および成果報告会にむけての準備状況について、石橋委員より報告がなされた。
- ・ 関係者からの投稿を現在募集しており、締め切りまで継続して応募を呼びかける。
 - ・ 成果報告会の開催場所として想定していた東大小柴ホールが、既に予約で塞がっているため、代替場所を検討する必要がある。

- (9) 会員提案型活動経費募集選考結果について；北里委員，事務局
標記について、北里委員より報告がなされた。
- ・ 以前から検討課題であった旅費支給割合は、現行の3割から7割まで引き上げる方向で調整をする。
 - ・ 来年度までにガイドラインの変更を行いたい、審査委員会の意見を伺う必要がある。

2. 審議事項

J-DESC 関連

- (1) 2007 年度会員総会について；鈴木部会長，事務局
標記について、鈴木部会長より説明がなされた。
- ・ 開催日時、場所等については、4月8日（日）14時～17時に東大海洋研究所の講堂を予定している。
 - ・ 議事次第（案）は、今回提示された案を基に、事務局、各執行部会で調整を行う。
 - ・ また、総会開催前に12時から執行部会を開催することとする。
 - ・ J-DESC 法人化活動については、本年度は特に活動を行っていないが、予算を計上しているため、何らかの報告が必要になると思われる。
- (2) SASEC 後任委員、alternate 委員選出について；鈴木部会長，事務局
標記について、鈴木部会長より説明がなされた。
- ・ 現在名前の挙がっている後任の委員・alternate 候補について、準備が整い次第、承認手続きを事務局にて開始することとする。
- (3) SPC 後任委員について；鈴木部会長，事務局
標記について、事務局を通して早急に公募を始めるとの説明がなされた。
(先の議題にて触れた通り、既に去年の7月に公募を行っており、新たな公募の必要はないことが後日判明したため、直ちに選出・承認手続きを行った)
- (4) PMO Meeting への対応について；鈴木部会長・阿波根部会長補佐
第9回 SPC 会議（大阪）後の3/8に開催される標記会議について、阿波根部会長補佐より説明がなされた。
- ・ 多言語・多文化のもとで行われる SAS の各種会議議長に対して、”Fundamental Tutorials for Chairmen of IODP Panels and Committees”をまとめ、SAS の全議長に IODP-MI から配布するように提案する予定である。
 - ・ 今回から韓国の PMO（KIGAM）が正式に会議に参加する。
 - ・ NantroSEIZE の乗船に関して、乗船研究者、サンプリングパーティーの人数が多く、旅費支援がままならないとの意見が JOI から出ており、何かしらの議論がされる予定である。

普及／広報活動関連

(5) 平成19年度 IODP 大学&科学館キャンペーンについて；事務局

標記について、来年度は北海道大学、京都大学、茨城大学、鹿児島大学の4箇所にて開催する方向で大学側と調整中であることが、事務局より説明された。また、今年3月に開催される名古屋キャンペーンにて実施予定のサイエンスカフェを、実施結果によっては、今後のキャンペーンイベントの一つとして取り入れること可能性があることが報告された。

(6) J-DESC 新パンフレットについて；事務局

標記について、提示した構成案をベースとしたデザイン案を、次回の執行部会までに制作したいとの報告が事務局よりなされた。また、AESTO が現在制作している JAMSTEC 発行予定の IODP 総合パンフレットについて説明が行われ、J-DESC 新パンフレットも同じ業者にてデザイン・印刷される予定であることが報告された。

(7) J-DESC Newsletter Vol.02 について；事務局

標記について、事務局より目次案、スケジュール、印刷部数および今回から日本語・英語版を同時製作することが説明された。また、ニュースレター英語版製作のための翻訳業者を、各社からの見積もり結果を基に選定した。

- ・ 将来的に各航海に乗船した日本人乗船研究者の研究成果論文のリストを、J-DESC ニュースレター、HP 等に掲載し、日本の IODP 研究を内外にアピールする必要がある。

(8) J-DESC Newsletter Vol.01 増刷および英語版製作について；事務局

標記について、事務局より目次案、スケジュール、印刷部数および海外関係機関等への想定配布数が説明された。

3. その他

(1) その他の報告事項など

IODP-MI 主催ワークショップ開催案内；事務局

事務局より、開催予定である以下のワークショップが案内された。

- ・ LIPs (Large Igneous Provinces) ; 7/21-26 @ Coleraine, Northern Ireland
- ・ Addressing Geologic Hazards Through Ocean Drilling ; 8/26-30
@ Portland, Oregon, U.S.

(2) 次回、執行部会日程

次回の執行部会は、3月の第3・4週で日程を調整することが確認された。